



# りあんと

第10号  
令和6年6月

りあんとは、フランス語で「人と人をつなげる」という意味があります。



## 目次

院長あいさつ…………… 2  
看護部長あいさつ…………… 2

DMATについて…………… 3  
ふたばのあゆみ…………… 4  
新採用・異動者紹介…………… 4

# 院長あいさつ

## 新年度を迎えて

ふたば医療センター附属病院

病院長 谷川 攻一



新年早々の1月1日、マグニチュード7.6の大地震が能登半島を襲いました。私もDMATの一員として被災地に赴きました。建物や道路、ライフラインの損壊は甚大であり、阪神淡路大震災を彷彿とさせるような被害状況でした。災害はいつ、どこで発生するか分かりません。災害大国である日本に住む私たちは、常に不測の事態に備えておく必要があります。

能登半島での活動の記憶が色濃く残る3月5日、ふたば医療センター附属病院では災害時医療救護訓練を行いました。今回は双葉消防、日本DMAT事務局、福島県立医科大学に加えて、日本災害医学会学生部会、DMAS (Disaster Medical Assistance Student) の学生が負傷者

役として参加しました。学生には模擬の怪我や血液を用いて真に迫る演技をしてもらいました。訓練に参加した当院スタッフや救急隊員にとって、実践さながらの有意義な訓練となりました。訓練で出来ないことは実戦でも出来ません。こうした訓練を通じて、災害時に迅速、かつ適切な対応ができるよう準備しておくことが大切です。

今年度は10名の新人、異動職員が着任しました。新メンバーと共に、双葉地域の住民の皆さんが少しでも安心して過ごせることができるよう、そして、災害時においても皆さんのお役に立てるよう引き続き尽力する次第です。2024年度もよろしくお願いいたします。

# 看護部長あいさつ

ふたば医療センター附属病院

認定看護管理者 看護部長 梅宮 照子



日頃より当院の運営につきましては、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当院は開設7年目を迎えます。県立病院であることから県内の転勤もあり、今年度も転入者と新採用者を迎え新体制でスタートしました。看護師は36名で24時間365日、交代で勤務しています。救急病院であるため重症な患者さん、外傷の患者さんなど多種多様な患者さんが来院します。専門の治療等が必要な場合は、多目的医療用ヘリコプターで患者さんを専門の病院へ搬送するためフライトナースと一緒に搭乗しております。患者さんを安全に搬送できるよう日々教育訓練を行って

ります。また、病棟では入院された患者さんや、そのご家族に寄り添えるよう努力し退院に向けての意向を早期から伺っております。自宅へ帰る患者さんや、そのご家族が不安なく退院後の生活を送れるよう病棟看護師やリハビリスタッフが退院前や退院後に訪問し、状態に応じた介護方法や住宅改修などについてお話をさせていただきます。

医療・介護の関係機関と連携して、多職種協働により、地域の皆さんが安心して生活ができますよう今後も取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

# DMAT について



今回は、災害派遣医療チーム(通称DMAT) についての紹介と1月に発生した能登半島地震での活動内容を報告します。

## DMAT とは

DMATとは、「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チームDisaster Medical Assistance Teamの頭文字をとってDMATと呼ばれています。

DMATは、広域災害（地震など）や局地



災害（列車事故など）発生時、従来の医療救護班が到着するよりも早く災害現場に駆け付け、現場で既に活動している方を支援し、救命医療・後方搬送（診療機能が維持された医療機関へ患者を搬送すること）のニーズに応えるため活動します。



時にはヘリで  
出勤することもあります！

## 能登半島地震への派遣について

令和6年元旦に発生した能登半島地震において、福島県へ日本DMAT隊の災害派遣要請依頼があり、当院からは院長をはじめとした医師・看護師・業務調整員の3名で災害救助活動を行いました。

被災地の道路は至る所に亀裂や崩壊・土砂崩れが起きており、移動するだけでも非常に体力のいる作業でした。活動中は大変なことの方が多かったのですが、現地の



方々より「福島もまだまだ大変なのに来てくれたんですね。」とお言葉を頂く事や立ち寄ったコンビニでは「福島も乗り越えたのなら私達も頑張らないとですね。」と握手を求められる場面もあり、非常にやりがいを感じることできた活動となりました。

東日本大震災被災県から石川県へと恩返しする事が出来たことや、チームとして今回の経験を活かし今後も医療従事者として最善の医療を提供できるように活動してまいります。



# ふたばのあゆみ



ふたば医療センター附属病院

@futaba\_fuzoku

こちらのQRコード  
よりX (旧 Twitter)  
のホーム画面に  
飛べます！



公式X (旧Twitter) ではふたば医療センター附属病院の取り組みや出来事を報告しています。  
ふたば医療センター附属病院の取り組みをもっと知りたい方、どんな雰囲気の病院か知りたい方  
などぜひご覧ください！フォローやリポスト、いいねも大歓迎です！

1月25日  
双葉警察署からの感謝状授与



1月29日  
能登半島地震での医療用ヘリ派遣



3月15日  
防火避難訓練



## 新規採用・異動者紹介

今年の4月より看護部4名、放射線科、栄養科、薬剤部、リハビリにそれぞれ1名、事務部に2名の計10名がふたば医療センター附属病院に採用・異動となりました。地域に根差した医療を提供するために精一杯頑張ります。

どうぞよろしくお願いいたします。



### — 今回の表紙 —

今年の3月に実施した災害時医療救護訓練の様子です。

訓練の中で大規模災害を想定した救急対応や消防機関との連携を再確認することができ、学びの多い訓練となりました。

## 福島県ふたば医療センター附属病院

〒979-1151 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 817-1

電話 0240-23-5090 / FAX 0240-23-5091

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/futaba/>

【診療科】救急科、内科

【窓口受付】平日 9時から12時、13時から16時まで

ただし、救急については24時間365日対応します。